

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南アルプスみんなで作る安全登山、鳥倉登山口～三伏峠登山道整備
事業主体 (連絡先)	大鹿村
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,375,000 円 (うち支援金: 916,000 円)

事業内容

令和2年度の情報案内施設に続き、今年度は登山道の整備及び案内看板の設置、周知活動を行う予定であった。案内看板の設置については、コロナ感染症の影響で出来なかったが、登山道については、栈橋や倒木、道の崩落など安全上不安な部分があったため、整備を行った。登山経験があまりない方も、安全に登山ができるよう事業を実施。



【登山道栈橋整備】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①令和2年度に整備した施設を活用し、登山道についての危険個所の提示をすることができ、情報共有ができた。
- ②安全性の確保、また、コロナ禍における登山への注目に対し、初心者に対しても安全に登っていただけるようPRができた。
- ③課題となっていた安全性の確保について、登山者からの情報提供およびそれに対する安全性の確保を行った。登山口掲示板へのメッセージ及び苦情等に対し、現地を確認。情報を提供する事により、注意して通行していただく事ができた。
- ④注意喚起を行ったため、ごみの持ち帰りが増え、高山植物の採取の防止につながった。

- ①登山者への情報提供
- ②南アルプス登山のPR
- ③登山者の安全性の確保
- ④登山者への環境・マナーの周知

※自己評価【 B 】

【理由】

コロナの影響により、案内看板の設置ができなかった。登山道の整備を行ったが、来年度以降も継続して登山道の整備、安全性の確保情報の提供をしていく必要がある。

今後の取り組み

休憩所の掲示板の活用及びそれに対する対応等が必要になってくる。登山道についても危険個所（登山道の崩落、栈橋の破損）は少しずつであるが修繕していく。今後も登山道の維持を関係者と共に行っていく。また、登山は時に命に係わることも出てくるため、必要な情報を登山者へ提供する必要がある。始めて、来られる方へのマナー向上も図る必要がある。（ゴミの持ち帰り、駐車場の正しい利用）そのため今後も情報の周知について行っていく。